

風早町の古民家 ● 100年住み続けられる京町家に再生



ハシリ(旧トオリニワから旧ミセニワをみる)



ヒブクロ(京町家において、おくどさんなどがあったハシリニワの上部を指す。小屋裏野地まで吹き抜けになっている空間のこと)



増築されていた縁側を元の形に戻す際、小舞天井に変えている



外観



再生前の外観



旧座敷

事例種別	現地再生
築年数	93年
用途	専用住宅
構造規模	木造2階建
所在地	京都府京都市下京区
竣工	2023年1月

現地再生

●再生にあたって

この京町家は昭和5年に建てられた比較的新しい建物です。

建て主からは以下の要望がありました。祇園祭の山鉦町である町並みにふさわしい京町家の外観にしたい。祖母が建てた建築当初の火袋や天井、柱および中庭を極力残したい。ミセノマに屋内ガレージを新設したい。トイレ・風呂も新しくし、居住性を向上させつつ町家のデザインと調和させたい。

要望を受け、京町家を基礎や構造から元の状態に戻し、あと100年住み続けられるような設計・施工がはじまり、ほぼ全て真壁で仕上げることになりました。

●設計・施工の方針と工夫

表が軒先まで増築され、タイルで覆われていたため、構造がどうなっているかわかりませんでした。解体しながらタイルの中に埋もれていた古い仕口や部材から建築当初のファサードを想像し、なおかつ、外観がおかしくならないように、人見梁・腕木の位置、軒裏の納まりなどを考えました。

屋内ガレージにするため一部間取りを変更しましたが、柱や梁の欠損は可能な限り埋木をしています。座敷に光が入らなくなっていた前栽側も減築し、昔の小

設計 (株)アラキ工務店
施工 (株)アラキ工務店



舞天井を復元することで明るい快適な空間を取り戻すことができました。

工事終盤が寒い時期になり、荒壁土が乾かず時間がかかってしまったのは反省材料です。

◆建て主から

建て替えに近いような大規模な改修工事となりましたが、古い材を最大限利用し、新しい木材は質感や色合いを既存木材に合わせるなど手間をかけていただいた結果、歴史ある山鉦町にあって、違和感のない、良い意味で古さを残す町家の外観になりました。昔の京町家の建築美を残しながらも、耐震性、断熱性、最新の水回りに加え、屋内ガレージまで職人の方々の高い技術と創意工夫で作っていただきました。

生活を始めてみると、天井や階段、中庭に面した廊下の美しさなど、京町家の良さを日々実感できています。府外からのお客様をお招きした際にも、みな感心され、嬉しく思っています。私の祖父も自身が建てた家屋が残って再生され、喜んでいてと思います。

この古民家再生の高い技術を継承・発展していただき、京都の美しい町並みが少しでも多く残るよう願っています。

(登録事業者・荒木 勇)